

令和8年度当初予算 総額 1062.6 億円

当面の課題への対応

物価高騰支援券の交付／物価高対応子育て応援手当／住宅リフォームへの支援／商工業者等の省エネルギー設備導入の支援

新たなステージ発展に向けた未来への投資① 人口戦略と6つの効果

令和5年度から、究極のインフラ整備と位置づけて取り組んでいる人口戦略。税込増や雇用の創出など、さまざまな効果を生み出しています。

人口戦略 ～究極のインフラ整備～

子育て世代・若者への支援

- ①3つの完全無料化
- ②こどものあそびば整備 **県内初**
- ③不妊治療費等の助成 **県内トップ**

移住支援・受け皿整備

- ①移住定住の推進
- ②たかお保育所整備
- ③保育人材の確保



市民の健康増進

- ①新たな高齢者支援
- ②歯周疾患検診
- ③こけないからだづくり講座

定住の促進

- ①まちなか居住の推進
- ②企業巡見による地元就職促進
- ③小・中学生のキャリア教育

まちの基盤である「人口」を維持！

6つの効果

短期的効果

①地域活性化
令和7年
納税義務者
5%増
(令和元年比)

②税収の増加
令和7年
個人市民税/固定資産税
11%増/6%増
(令和元年比)

③雇用の創出
有効求人倍率
(R4) 1.68→(R7) 1.16
人手不足の改善

中長期的効果

①人口維持
(R4) 158,405人
→(R7) 159,027人
人口減少から人口維持へ

②出生数
(R5) 1,100人
→(R6) 1,093人
出生数の下げ止まり

③後継者確保
後継者のUターンによる
事業承継業務改善 (DX化等)



新たなステージ発展予算

スマイルシティ都城

令和8年度当初予算が成立しました。今回は、予算の概要と主な取り組みなどを紹介します。

都城市のさらなる発展のために！

令和8年度一般会計当初予算の考え方について、市長メッセージをお届けします。

本市の令和8年度の一般会計当初予算は、総額1062億6千万円(前年度比0.3%増)となり、物価上昇を加味するとほぼ横ばいとなっています。

今回の予算編成では、目玉プロジェクトとして2つの大きな柱を掲げています。1つ目は、新たなステージで活躍する子どもたちへの投資です。県内初となる「こどものあそびば」の整備や、全小・中学校の体育館への空調整備を進め、次代を担う子どもたちが健康やかに学び、遊べる環境をしっかりと整えます。

2つ目は、高齢者の皆様がいっただけのお元気で過ごしていただけるための取り組みです。県内で初めて、75歳以上の市民に毎年5千円分の商品券を配付する「高齢者元氣ハツラツ商品券」事業を実施するほか、健康増進施設利用助成券(温泉券)の対象施設を従来の12施設から24施設へと大幅に拡充し、利便性の向上を図ります。

子どもや子育て世代から、地域を支えてこられた高齢者の皆様まで、幅広い世代に寄り添った事業を力強く実施してまいります。

本市としては、まずは目の前の課題にしっかりと対応するとともに、中長期的な課題にも適切に取り組む、市民の皆様の笑顔がさらに輝くまちづくりを推進してまいります。

市民の皆様には、引き続きのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和8年4月
都城市長
池田 宣永

◎問い合わせ 財政課 23-2113



目玉プロジェクト①



新たなステージで活躍する「子どもたちへの投資」を推進

こどものあそびば整備

予算 **1億2,396万円**

- 大型の公設屋内型遊戯施設を整備するのは**県内初!**
- 真夏や雨天時でも、子どもたちが伸び伸びと遊ぶことができる「**全天候型の屋内遊戯施設**」の整備を推進



外観イメージパース



●施設概要

遊戯スペース／乳幼児向け遊戯スペース／多目的スペース／交流スペース／屋根付き広場／屋外あそびば など

●事業期間

令和7～11年度（予定）

全小・中学校体育館の空調整備

予算 **2億6,705万円**

- 子どもたちの学習・生活の場である「**全小・中学校体育館**」に空調整備
- 安心して学習・運動できる環境の向上
- 多くの体育館は避難所としても使用するため、避難所環境の向上にも大きく寄与



Generated by AI



●令和8年度事業

- ・工事 小学校7校、中学校3校
- ・設計 小学校7校、中学校3校

●事業期間

令和7～12年度（予定）

新たなステージ発展に向けた未来への投資② D・S・PRのさらなる推進

D デジタル化の推進

- 書かないワンストップ窓口
- 消防団活動支援システム整備 など

- ▶マイナンバーカード保有枚数率**全国1位**（人口10万人以上市区）
- ▶日本DX大賞で3年連続大賞受賞「**全国初の殿堂入り**」

S スポーツによる地域活性化

- スポーツキャンプ・合宿の誘致
- 都城運動公園陸上競技場などの整備 など

- ▶千葉ロッテマリーンズ**1軍春季キャンプ実施**
- ▶各スポーツ施設の着実な整備・改修を実施

PR 対外的PRの推進

- ふるさと納税の推進
- 関之尾公園・「道の駅」都城 NiQLLの活用による交流人口の拡大 など

- ▶ふるさと納税受入額5度の**日本一!**
- ▶スノーピーク都城キャンプフィールドリニューアルから1年半で**50万人!**
- ▶「道の駅」都城NiQLLオープンから2年10カ月で**400万人達成!**

新たなステージ発展に向けた未来への投資③ 3つの宝を、より一層輝かす

1 農林畜産業の振興

- 農畜産業の振興
- 6次産業化による地域ブランドのPR など

- ▶農業産出額**5年連続日本一!**（R元～R5）
- ▶6次産業化の地域ブランド“**都城メンチ**”をさらにPR

2 地の利の拡大

- (仮称)国道222号牛ノ峠バイパス・(仮称)都城末吉道路・(仮称)高崎・山田スマートIC整備事業
- 工業団地・基幹道路の整備 など

- ▶基幹道路等の整備により、地域の可能性は**無限大!**
- ▶企業立地件数**5倍超のスピード!**

3 人間力あふれる子どもたちの育成

- 全小・中学校体育館の空調整備
- 学力・読書環境の向上に向けた取り組み など

- ▶全ての小・中学校体育館に**空調を整備!**
- ▶AIドリルなどによる**個別最適な学び**の実現
- ▶**こどもフィロソフィ**の策定

収入を増やし、借金を減らしつつ、しかるべき分野に投資する!

1 収入を増やす!

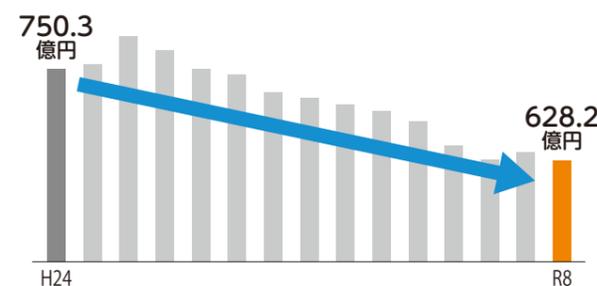
市税の増加			堅調なふるさと納税		
R6	R7	R8	R4	R5	R6
197.4 億円	209.1 億円	215.7 億円	195.9 億円	193.8 億円	176.4 億円

自主財源比率 **45.3%**
宮崎県・県内9市
トップクラス!

※ふるさと納税を含めた場合は**50.0%**

2 借金を減らす!

市債残高 **120億円超の減!** (対H24)



3 しかるべき分野に投資する!

新たなステージの発展へ!

- ① 人口戦略 ～究極のインフラ整備～
- ② D・S・PRのさらなる推進!
- ③ 3つの宝を、より一層輝かす!

目玉プロジェクト②

全ての「高齢者」の健康寿命を延伸

新規 高齢者元気ハツラツ商品券

予算 2億375万円

○75歳以上の高齢者を対象に、市内店舗で利用できる商品券5千円分を毎年配付するのは県内初！

- 対象者
4月1日時点で住民基本台帳に登録されている、75歳以上の市民（年度内に75歳になる人を含む）
- 配付方法
毎年9月までに順次郵便により配付予定
- 使用期間
配付された日から1月末日まで



拡充 温泉券対象施設の拡充

予算 1億1,516万円

- 健康増進施設利用助成券（温泉券）の対象施設を拡充
- 市内の民間温泉施設等を追加！

- 対象者
65歳以上の市民（年度内に65歳になる人を含む）
- 利用施設

・温泉施設	現行 10施設	拡充後 20施設
・パークゴルフ場	2施設	4施設
- 利用開始
令和8年9月から拡充予定



このほか高齢者支援として、補聴器購入費助成／公園への健康器具設置／リ・バース60（耐震改修利子補給制度）の活用／歯周疾患検診／こけないからだづくり講座 など各種事業を実施します



人口戦略
～究極のインフラ整備～

自然増の促進

子育て世代・若者への支援

3つの完全無料化

【予算額】15億5,922万円

第1子からの保育料、中学生までの医療費、妊産婦の健康診査費用の3つの完全無料化を引き続き実施し、子育て世代が安心して引き続き実施し、育てられる環境づくりを推進します。

【予算額】1億2,396万円

【予算額】5,511万円

お見合(ONIA)事業(県内唯一)

【予算額】847万円

結婚を真摯に希望する独身男女を対象に、安心できる出会いの場を提供するとともに、出会いから結婚まで伴走型の支援を行います。

妊娠前の健康管理支援事業(県内初)

【予算額】492万円

将来の妊娠・出産を希望する市民が、妊娠前の健康状態を把握するための各種検査費用を助成。将来のライフプランを考え、日々の生活や健康と向き合う「プレコンセプションケア」を推進します。
※プレコンセプションケアとは、妊娠前の健康管理のこと

不妊治療費などの助成

【予算額】217.5万円

子ども誰でも通園制度に伴う給付

【予算額】516万円

自然減の抑制

市民の健康増進

新たな高齢者支援

【予算額】3億5,839万円

【予算額】5,511万円

拡温泉券対象施設の拡充

【予算額】847万円

新補聴器購入費助成
新公園への健康器具設置
リ・バース60（耐震改修利子補給制度）の活用

歯周疾患検診

【予算額】558万円

歯周病の早期発見・予防により歯の喪失を防ぎ、生涯にわたって健康な歯・口腔を維持し、全身の健康維持と健康寿命の延伸を図ります。

こけないからだづくり講座

【予算額】269.8万円

社会増の促進

移住支援・受け皿整備

【予算額】9億3,560万円

移住応援給付金の支給を継続して実施。移住後も相談受付や雇用・就業支援を行い、定住化を推進します。

たかお保育所整備

【予算額】804.8万円

保育の受け皿確保および医療的ケア児などの特別な配慮が必要な児童の受け入れを目的に、公立保育所である同保育所の建て替えを行います。

保育人材の確保

【予算額】6,921万円

安心して子育てできる環境を維持しつつさらなる需要に対応するため、就職支援金・継続支援金を支給します。

▼給付金支給の例

就職時 20万
1年経過 10万
2年経過 10万
3年経過 10万

最大50万

奨学金返還支援(県内トップクラス)

【予算額】1,015万円

奨学金返還額の一部を支援。本市で働きたい若者を強力にバックアップします。

社会減の抑制

定住の促進

【予算額】1億8,012万円

まちなか居住の推進
企業巡見による地元就職促進
【予算額】1,600万円

小・中学生のキャリア教育

【ゼロ予算】

地元企業のゲストティーチャーを小・中学校に派遣しキャリア教育を行うことで、次世代を担う子どもたちの「地元で働く」意識を醸成します。



D・S・PRのさらなる推進!

デジタル化の推進

書かないワンストップ窓口

【予算額】 3659万円

転入・転居などの手続き時の書類記入を省力化できる「書かないワンストップ窓口」を、各地区市民センターに拡充します。書かないワンストップ窓口をリモート窓口の活用により補完する仕組みは、県内初の取り組みです。



リモート窓口運用

【予算額】 83万円

処分通知オンライン化

【予算額】 53万円

電子署名ができるシステムを導入し、許可証発行などの行政手続きの処分通知をオンラインで交付します。

消防団活動支援システム整備

【予算額】 396万円

出動指令の一言送信や、地図上で災害現場の動態管理・水利情報などを可視化できるシステムの導入により、消防団員のスムーズな活動を支援します。



園見学予約システム導入

【予算額】 53万円

ウェブ上で保育園などの見学予約や空き情報の確認、入園申し込みができるようになるシステムを導入し、保育園などの入所を希望する保護者の利便性向上を図ります。



スポーツによる地域活性化

【予算額】 4806万円

都城運動公園陸上競技場などの整備
【※予算額】 4806万円
都城運動公園陸上競技場インフィールド芝養生やテニスコートスタンドパーゴラを整備します。

山田運動公園野球場・駐車場の整備

【予算額】 2億2197万円

野球場のダグアウトなどを改修するとともに、不足する駐車場を整備します。

宿泊施設立地促進等支援

【予算額】 5億円(債務負担)

宿泊施設整備を行う事業者を県と一体になって支援し、プロスポーツキャンプや国際スポーツ大会、大規模イベントなどの戦略的誘致を促進し、スポーツによる地域活性化を図ります。



Generated by AI

【宿泊施設の新社】 上限4億円(県2分の1、市2分の1)
【宿泊施設の拡充】 上限1億円(県2分の1、市2分の1)

スポーツランド都城推進事業

【予算額】 1億7114万円

交流人口の拡大や地域経済の活性化につながるプロ野球やJリーグのキャンプ。引き続きキャンプ誘致および受け入れ環境のさらなる充実を図ります。

キャンプツアー造成事業

【予算額】 200万円

千葉ロッテマリーンズキャンプ期間中に、ファンを対象にしたモニターツアーを実施します。

ドリーム・ベースボール

【予算額】 80万円

元プロ野球選手による指導者クリニックや実技指導を実施します。

国民スポーツ大会リハーサル大会

【予算額】 2億6426万円

令和9年に開催される「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」の成功に向け、本市で開催される競技の準備を進めるとともに、気運醸成を図ります。

市民総スポーツ計画推進事業

【予算額】 250万円

市民の誰もがスポーツに参加できるイベントを実施します。

地の利の拡大

【仮称】 国道222号牛ノ峠バイパス・【仮称】 都城末吉道路
【予算額】 191万円

【仮称】 高崎・山田スマートIC整備事業
【予算額】 1372万円

さらなる地の利の拡大による地域活性化や産業振興を図るため、都城IC、高原IC間におけるスマートICの整備に向けた調査検討を進めます。

基幹道路の整備

【予算額】 1億212万円

○甲斐元通線(五十市工区)
※令和16年度完成予定
○新須田木軍神原線
○新諏訪神社線
○新栄・年見327号線

工業団地の整備

【予算額】 21億117万円

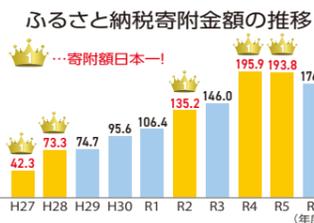
○都城インター工業団地整備(高木北地区)
○梅北インター工業団地整備
○新工業団地整備
堅調な企業立地を踏まえ、新たな工業団地の整備に着手します。

対外的PRの推進

ふるさと納税の推進

【予算額】 56億3393万円

これまで5度の日本一を達成しているふるさと納税。「肉と焼酎のふるさと・都城」の対外的なPRと地場産業のさらなる振興を図ります。



物産振興拠点

「道の駅」都城NI-Q-L-L

【予算額】 1億4090万円

「極上和牛と焼酎マルシェinNI-Q-L-L」やイルミネーションをはじめとしたさまざまなイベントを毎年で開催し、にぎわいを創出します。

観光交流拠点「スノーピーク都城キャンプフィールド」
【予算額】 4941万円

関之尾滝のライトアップやさまざまなイベントなど、地元と連携してにぎわいを創出します。

ミートツーリズム

【予算額】 2億3979万円

農林畜産業の振興

【予算額】 5352万円

○全国和牛能力共進会対策
○肉用牛担い手農家支援
○新酪農対策事業
○養豚生産性向上対策
○鳥インフルエンザ等防疫対策



農畜産業の振興

【予算額】 5352万円

○全国和牛能力共進会対策
○肉用牛担い手農家支援
○新酪農対策事業
○養豚生産性向上対策
○鳥インフルエンザ等防疫対策

6次産業化による地域ブランドのPR

【予算額】 5634万円

○「都城メンチ」プロジェクト
○新たな6次化商品の開発や販路開拓への支援

再造林率向上に対する支援

【予算額】 4866万円

【農地確保推進事業】
【予算額】 2867万円

【早成桐活用実証事業 県内初】
【予算額】 650万円

苗木からわずか5年で成木になり活用できる「早成桐」の実証栽培を行い、遊休農地対策などの可能性について検証します。



社会貢献型都城産農畜産物活用モデル事業

【予算額】 1520万円

都城産の農畜産物を、規格や相場に左右されない適正価格で買い取り、市内の子ども食堂などに寄贈します。

有害鳥獣捕獲特別対策事業

【予算額】 1388万円

有害鳥獣捕獲班(猟友会)が行う捕獲に対し、市単独の捕獲個体上乗せ助成を拡充します。また、班員が緊急的に出動する場合の手当を対応時間にに応じて支給します。

【新】：新規事業 【拡】：拡充事業 【ふ】：ふるさと納税活用事業 【再】：再掲 ※令和7年度補正予算を含む

人間力あふれる子どもたちの育成

全小・中学校体育館の空調整備
【予算額】 2億6705万円

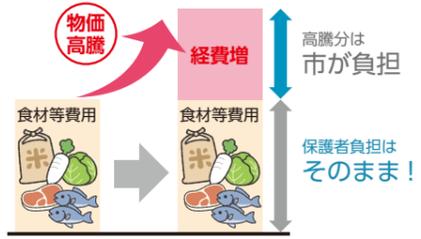
小・中学校のトイレ洋式化の推進
【予算額】 6745万円

学校給食費(小学生)の無償化

【新】【予算額】 5億3013万円
国の方針を踏まえ、小学生の学校給食を無償化します。国の支援基準額(5200円)を超える食材費は市が支援します。

学校給食費(中学生)の据え置き 実質値下げ

【予算額】 6854万円
物価高騰に伴う食材費の値上げ分(中学生分)を継続支援し、保護者負担を増やすことなく、これまで同様、安全安心な学校給食を提供します。



ちばな天文台のリニューアル

【新】【予算額】 2億6755万円
望遠鏡の更新やモバイルプラネタリウムを導入し、宇宙や星空の魅力をより身近に感じられる施設にリニューアルします。

※令和8年11月完成予定

地域活性化事業

【予算額】 1億5千万円
※令和7～10年度総額

市民サービスのさらなる向上

生活道路舗装メンテナンス
【新】【予算額】 1億4千万円

市民生活に密着した生活道路の舗装整備予算を大幅に増額し、道路整備を実施します。

通学路表示板設置

【新】【予算額】 1484万円

子どもたちが安心・安全に通学できるように、通学路に表示板を設置します。

上長飯蓋地公園整備

【新】【予算額】 301万円

永代管理型のお墓の需要が高まる中、さらなる需要に因應するため、合葬墓の2号墓を建設します。

デジタル技術の活用による学力向上対策

【予算額】 6649万円

A・L・T・図書館サポーターの配置
【新】【予算額】 2億935万円

子どもフィロソフィ 県内初
【新】【予算額】 176万円

子どもたちが「目指したい姿」「目標とする指針」を示す「都城子どもフィロソフィ」を策定し、1人1台端末を活用して周知を図ります。

学びの多様化学校(あやめ野中学校)

【新】【予算額】 7651万円

不登校生徒の新たな学びの場の確保を目的に、不登校生徒の実態に配慮し、特別な教育課程を編成して教育を実施する「学びの多様化学校」を、南九州大学都城キャンパスひばり館内に設置します。



あやめ野中学校
(南九州大学都城キャンパスひばり館内)

その他の特色ある事業

スフィア基準に基づく災害備蓄整備
※スフィア基準とは、長期避難生活が予想される場合に災害関連死を防ぐ国際基準

【新】【予算額】 9800万円

中郷地区消防団防災施設整備

【新】【予算額】 8380万円

旧都城市民会館跡地活用事業複合施設整備
【新】【予算額】 2860万円

志和池最終処分場第2期埋立地利利用対策
【新】【予算額】 2億2600万円

公共施設LED化

【新】【予算額】 1億5千万円

省エネ効果の高い施設や高天井でランプ交換コストが高い施設を優先的にLED化します。

民生委員・児童委員活動費交付金

【新】【予算額】 5054万円

原則無報酬で活動する民生委員・児童委員の活動に必要な交通費や通信費、消耗品費などの実費相当分として支給する活動費を増額します。



重要施策の推進
市民サービスのさらなる向上
その他の特色ある事業

重要施策の推進

中心市街地の活性化

まちなか居住の推進

【新】【予算額】 1億8012万円

中心市街地のリノベーション・魅力アップ

【新】【予算額】 2億4630万円

○中心市街地再生プラン事業
空き店舗のリノベーションを支援し、新規出店を促進します。
【新】【予算額】 2億4630万円
○まちなか活性化プラン事業
学生によるまちなかの「にぎわい創出活動」を支援対象に拡充します。

中小企業の振興

【新】【予算額】 5196万円

【新】職業訓練センター整備
【新】事業承継マッチング支援

美術館特別展「鈴木りたけ 大原画」展(仮) 南九州初
【新】【予算額】 3千万円

美術館特別展「画家 岸田劉生の軌跡」展(仮) 県内初
【新】【予算額】 1600万円

都城島津邸特別展「島津発祥1000年記念」展(仮)
【新】【予算額】 2367万円

新市誕生20周年記念事業の開催

【新】【予算額】 8230万円

令和8年1月1日、新市誕生20周年を迎えた本市。令和8年12月にかけて、さまざまな記念事業を実施します。



九州交響楽団



島津発祥1000年記念展
浅野温子よみ語り

地域の活性化

地域コミュニティ在り方検討会の開催
【新】【予算額】 183万円

地域コミュニティの持続可能な在り方と組織運営を検討します。

自治公民館活動支援

【新】【予算額】 7786万円

○防犯灯設置・運営への支援
防犯灯のLED化を補助すること
で、電気代や電球交換の負担軽減を図り、公民館運営を支援します。
○建物・備品・エアコンなどの整備への支援

高城総合支所・高城図書館の整備(複合化)

【新】【予算額】 5億9631万円

高城生涯学習センターを高城総合支所複合施設としてリニューアルします。
※令和11年度完成予定

地区公民館・地区体育館の整備

【予算額】 13億2553万円

○小松原地区公民館・体育館の整備(複合化)
※令和9年度完成予定
【祝】祝吉地区体育館の整備
※令和8年度完成予定

当面の課題への対応

物価高騰支援券の交付
【※】【予算額】 17億8583万円

食料品などをはじめとした物価高騰の長期化に直面する市民の家計を支援するため、全市民に対し物価高騰支援券(1人当たり1万円)を交付します。



物価高対応子育て応援手当

【※】【予算額】 10億4408万円

物価高騰の影響を特に強く受けている子育て世帯を支援し、子どもたちの健やかな成長を応援することを目的に、国の物価高対応子育て応援手当(2万円)給付に上乗せして、県の物価高対策子育て応援手当(1万5千円)を給付します。



住宅リフォームへの支援

【※】【予算額】 1億2311万円

商工業者などの省エネルギー設備導入への支援
【※】【予算額】 8410万円

【新】：新規事業 【拡】：拡充事業 【ふ】：ふるさと納税活用事業 【再】：再掲 ※令和7年度補正予算を含む